

# 2023年度 平生アートプロジェクトレポート

## 【 担当教員 】

学部・学科・専攻	職 名	氏 名
代表者：芸術学部デザイン工芸学科現代表現分野	准教授	古堅太郎
教育基盤センター	特任講師	三上賢治

## 【 プロジェクトの概要 】

平生アートプロジェクトは、山口県平生町の地域振興策「イタリアーノひらお」の一環として、アート活動による地域の活性化を図る取り組みである。

平生町では、2018年からイタリアをテーマとしたまちづくりを進めているが、芸術分野での取り組みはまだ行っていない。参考地域であるイタリアでは古くから芸術文化が発展し、まちづくりの一つとして芸術を活かす取り組みが浸透している。また、1895年から現代美術の国際美術展覧会「ヴェネツィア・ビエンナーレ」が開催され、国内外から観光客を集める世界的なアートイベントとして知られるように、芸術活動が国の大きな観光政策となっている。こうした背景を踏まえ、「イタリアーノひらお」に取り組む平生町においても、地域に根ざした芸術活動が継続的に行われる環境を醸成していく。

具体的には、国内外で活躍するアーティストを平生町に招聘し、一定期間地域に滞在しながら作品を制作する。完成した作品は地域内外へ向けて発表するとともに、「イタリアーノひらお」をPRする新たな魅力づくりとして活用する。また、地域の小学校や中学校とも連携し、芸術を介して子供の創造力や知的好奇心を育む芸術交流ワークショップを開催する。

## 【プロジェクトでの成果等】

2023年度は以下の取り組みを実施した。

### ① 佐賀小学校 芸術交流ワークショップの開催

平生町立佐賀小学校の児童を対象にワークショップを行った。「フロッタージュ」の技法を用いて校舎の質感をトレースし、日常的に感じている感覚的な情報の可視化を試みた。





根気強くやりめけば  
きれいな花がさき出すよ



## ② 学生・教員の平生町視察と次年度のプロジェクト計画

デザイン工芸学科現代表現領域の教職員・学生を対象に平生町の視察を行なった。来年度以降、現代表現領域が平生町アートプロジェクトに関わっていくための視察である。展示場所や平生町でやりたいこと、課題などを理解し今後の内容を学生と検討した。



今年度の活動を準備期間とし、来年度以降は活動量を順次増やしていく予定である。また、将来的には、平生町での滞在制作や作品展示といったアートプロジェクトの展開を目標としていく。